

4.3.1 プログラム導入

ここでは、受注側クライアントプログラムのパッケージ内容、インストールの方法、および、アンインストールの方法について説明します。

また、インストーラは、自己解凍形式の実行ファイルとして WEB サイトより提供されます（この実行ファイルのファイル名は、WEB サイトから確認してください）。

- ・ パッケージ内容 (1)参照
- ・ インストール手順 (2)参照
- ・ アンインストール手順 (3)参照

(A) 自己解凍ファイルを実行すると、解凍先に指定したフォルダ内に、以下のインストールに必要なファイル群が展開されます。

展開したファイル群は、障害復旧時に再利用しますので削除せずに保管しておくことを推奨します。

フォルダ名 / ファイル名	
inst32i.ex	_ISDel.exe
_Setup.dll	_sys1.cab
_sys1.hdr	_user1.cab
_user1.hdr	Data.tag
data1.cab	data1.hdr
lang.dat	layout.bin
os.dat	Setup.exe
Setup.ini	setup.ins
setup.lid	
¥ data	
0301-info.xml	0702-info.xml
0302-info.xml	0704-info.xml
0303-info.xml	0705-info.xml
0304-info.xml	0801-info.xml
0500-info.xml	0901-info.xml
0601-info.xml	1101-info.xml
0701-info.xml	
¥ dtd	
MGH.dtd	SJAC0702.dtd
SJAC0301.dtd	SJAC0704.dtd
SJAC0302.dtd	SJAC0705.dtd
SJAC0303.dtd	SJAC0801.dtd
SJAC0304.dtd	SJAC0901.dtd
SJAC0500.dtd	SJAC1101.dtd
SJAC0601.dtd	SJACELEMENT.dtd
SJAC0701.dtd	
¥ excel	
C10-JP.xlt	C1-US.xlt
C10-US.xlt	C2-JP.xlt
C11-JP.xlt	C2-US.xlt
C11-US.xlt	C3-JP.xlt
C12-JP.xlt	C3-US.xlt
C12-US.xlt	C4-JP.xlt
C13-JP.xlt	C4-US.xlt
C13-US.xlt	C5-JP.xlt
C14-JP.xlt	C5-US.xlt
C14-US.xlt	C6-JP.xlt
C15-JP.xlt	C6-US.xlt
C15-US.xlt	C7-JP.xlt
C16-JP.xlt	C7-US.xlt
C16-US.xlt	C8-JP.xlt
C17-JP.xlt	C8-US.xlt
C17-US.xlt	C9-JP.xlt
C1-JP.xlt	C9-US.xlt

<補足説明>

フォルダ名が無いブロックは、自己解凍ファイルを展開したフォルダを表します。

¥data はインデックスファイルの項目名定義ファイル群を格納します。

¥dtd は dtd ファイルを格納します。

¥excel は帳票テンプレートファイルを格納します。

フォルダ名 / ファイル名	
Setup.exe Cweb.CAB	Setup.lst
¥ data	
0301-info.xml	0702-info.xml
0302-info.xml	0704-info.xml
0303-info.xml	0705-info.xml
0304-info.xml	0801-info.xml
0500-info.xml	0901-info.xml
0601-info.xml	1101-info.xml
0701-info.xml	
¥ dtd	
MGH.dtd	SJAC0702.dtd
SJAC0301.dtd	SJAC0704.dtd
SJAC0302.dtd	SJAC0705.dtd
SJAC0303.dtd	SJAC0801.dtd
SJAC0304.dtd	SJAC0901.dtd
SJAC0500.dtd	SJAC1101.dtd
SJAC0601.dtd	SJACELEMENT.dtd
SJAC0701.dtd	
¥ excel	
C10-JP.xlt	C1-US.xlt
C10-US.xlt	C2-JP.xlt
C11-JP.xlt	C2-US.xlt
C11-US.xlt	C3-JP.xlt
C12-JP.xlt	C3-US.xlt
C12-US.xlt	C4-JP.xlt
C13-JP.xlt	C4-US.xlt
C13-US.xlt	C5-JP.xlt
C14-JP.xlt	C5-US.xlt
C14-US.xlt	C6-JP.xlt
C15-JP.xlt	C6-US.xlt
C15-US.xlt	C7-JP.xlt
C16-JP.xlt	C7-US.xlt
C16-US.xlt	C8-JP.xlt
C17-JP.xlt	C8-US.xlt
C17-US.xlt	C9-JP.xlt

<補足説明>

¥html は EDI メッセージ xml ファイル表示用スタイルシートと共通コード表ファイルを格納します。

¥html の続き

フォルダ名 / ファイル名

0500D_us.html	1101D_jp.html
0500H_jp.html	1101D_us.html
0500H_us.html	1101H_jp.html
0601_jp.html	1101H_us.html
0601_jp.xsl	amountsumjp.xsl
0601_us.html	amountsumus.xsl
0601_us.xsl	CW010jp.html
0601D_jp.thml	CW010us.html
0601D_us.html	CW030waitjp.html
0601H_jp.html	CW030waitus.html
0601H_us.thml	CW355jp.xsl
0701_jp.html	CW355waitjp.html
0701_jp.xsl	Detail0302_jp.html
0701_us.thml	Detail0302_jp.xsl
0701_us.xsl	Detail0302_us.html
0701D_jp.html	Detail0302_us.xsl
0701D_us.html	Detail0704_jp.html
0701H_jp.thml	Detail0704_jp.xsl
0701H_us.html	Detail0704_us.html
0702_jp.html	Detail0704_us.xsl
0702_jp.xsl	mainmenu.html
0702_us.html	StandardCode_jp.xml
0702_us.xsl	StandardCode_us.xml
0702D_jp.html	wc.css
0702D_us.html	wc.js
0702H_jp.thml	wc2.css

<補足説明>

¥html は EDI メッセージ xml ファイル表示用スタイルシートを格納します。

フォルダ名 / ファイル名	
¥ log	communicationlog.csv
¥ option	maker.xml option.xml
¥ rcxml	CW010.xml CW250.xml CW030.xml CW260.xml CW040.xml CW270.xml CW050.xml CW280.xml CW060.xml CW290.xml CW061.xml CW300.xml CW070.xml CW310.xml CW080.xml CW311.xml CW090.xml CW320.xml CW100.xml CW330.xml CW110.xml CW340.xml CW120.xml CW370.xml CW130.xml CW372.xml CW140.xml CW400.xml CW150.xml CW410.xml CW160.xml CW411.xml CW170.xml CW412.xml CW180.xml CW413.xml CW190.xml CW490.xml CW191.xml CW500.xml CW200.xml CW510.xml CW210.xml CW600.xml CW220.xml clientsetup.xml CW230.xml rc.xml CW240.xml rcdisp.xsl
¥ trans	code.crl xtoc.trl

<補足説明>

¥log は通信履歴ファイルを格納します。

¥option はメーカー情報ファイル、クライアント情報設定ファイルを格納します。

¥rcxml は画面表示用リソースファイルを格納します。

¥trans はトランスレータ用変換ルールファイルのサンプルを格納します。

フォルダ名 / ファイル名

¥xmlxs

CR010_ChangeCode_jp.xsl	CR120_ChangeCode_jp.xsl
CR010_ChangeCode_us.xsl	CR120_ChangeCode_us.xsl
CR020_ChangeCode_jp.xsl	CR130_ChangeCode_jp.xsl
CR020_ChangeCode_us.xsl	CR130_ChangeCode_us.xsl
CR030_ChangeCode_jp.xsl	CR130_CrangeStructure_jp.xsl
CR030_ChangeCode_us.xsl	CR130_CrangeStructure_us.xsl
CR030_CrangeStructure_jp.xsl	CR140_ChangeCode_jp.xsl
CR030_CrangeStructure_us.xsl	CR140_ChangeCode_us.xsl
CR040_ChangeCode_jp.xsl	CR140_CrangeStructure_jp.xsl
CR040_ChangeCode_us.xsl	CR140_CrangeStructure_us.xsl
CR050_ChangeCode_jp.xsl	CR150_ChangeCode_jp.xsl
CR050_ChangeCode_us.xsl	CR150_ChangeCode_us.xsl
CR050_CrangeStructure_jp.xsl	CR160_ChangeCode_jp.xsl
CR050_CrangeStructure_us.xsl	CR160_ChangeCode_us.xsl
CR060_ChangeCode_jp.xsl	CR160_CrangeStructure_jp.xsl
CR060_ChangeCode_us.xsl	CR160_CrangeStructure_us.xsl
CR060_CrangeStructure_jp.xsl	CR170_ChangeCode_jp.xsl
CR060_CrangeStructure_us.xsl	CR170_ChangeCode_us.xsl
CR070_ChangeCode_jp.xsl	savedom0302.xsl
CR070_ChangeCode_us.xsl	savedom0304.xsl
CR080_ChangeCode_jp.xsl	savedom0702.xsl
CR080_ChangeCode_us.xsl	savedom0704.xsl
CR090_ChangeCode_jp.xsl	StandardCode_jp.xml
CR090_ChangeCode_us.xsl	StandardCode_us.xml
CR100_ChangeCode_jp.xsl	type0302.xml
CR100_ChangeCode_us.xsl	type0304.xml
CR110_ChangeCode_jp.xsl	type0702.xml
CR110_ChangeCode_us.xsl	type0704.xml
CR110_CrangeStructure_jp.xsl	
CR110_CrangeStructure_us.xsl	

<補足説明>

¥xmlxsl は印刷、保存用データ変換 xsl ファイルを格納します。

(A) インストールの前提条件

受注側クライアントは、インストーラにてインストールするプログラムの他に、以下の製品、フリーウェア、XML トランスレータを事前にインストールしておく必要があります。

以下の製品については、各製品より提供される媒体より直接、受注側クライアントへインストールして下さい。

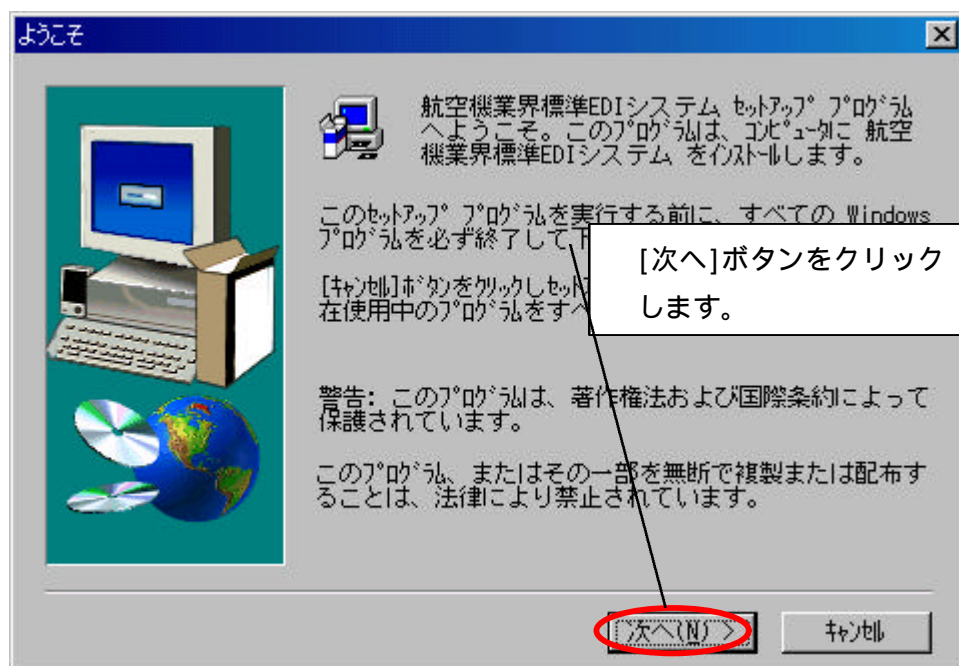
インストールの方法は、各製品のインストールガイドを参照してください。

- ・マイクロソフト株式会社 Excel97 SR-1 以上 (SR: サービスリリース)
Internet Explorer 5.0 以上

Excel97 SR の入手方法については、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

XML トランスレータについては、「4.4 トランスレータ設定」を参照してください。

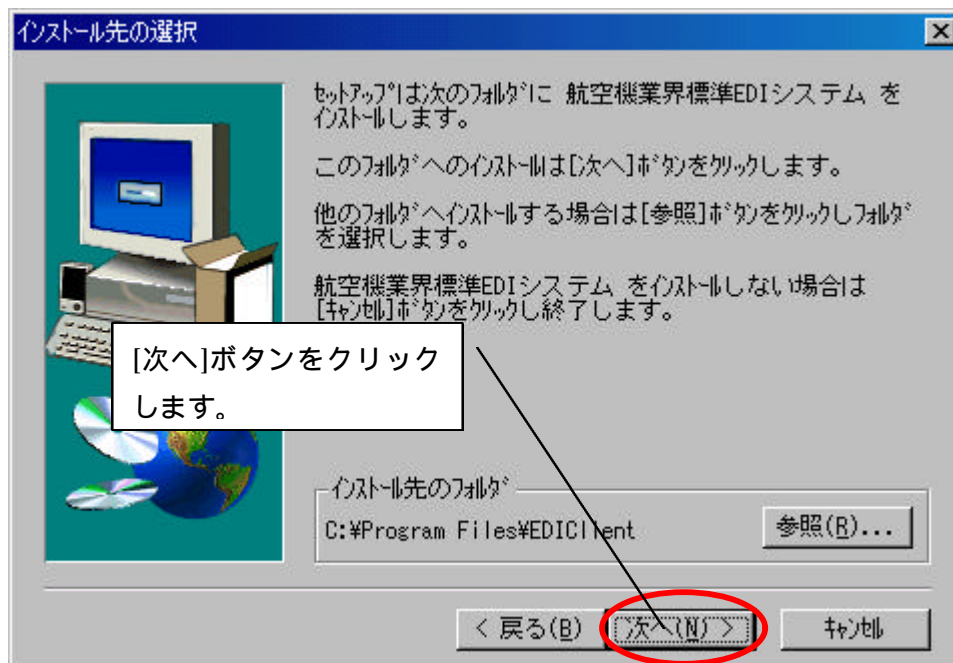
(B) 配布された媒体内の setup.exe をダブルクリックしてインストールを開始します。



<補足説明>

[キャンセル] ボタンをクリックする事により、インストール作業を中止することができます。

(C) セットアップ先を選択します。

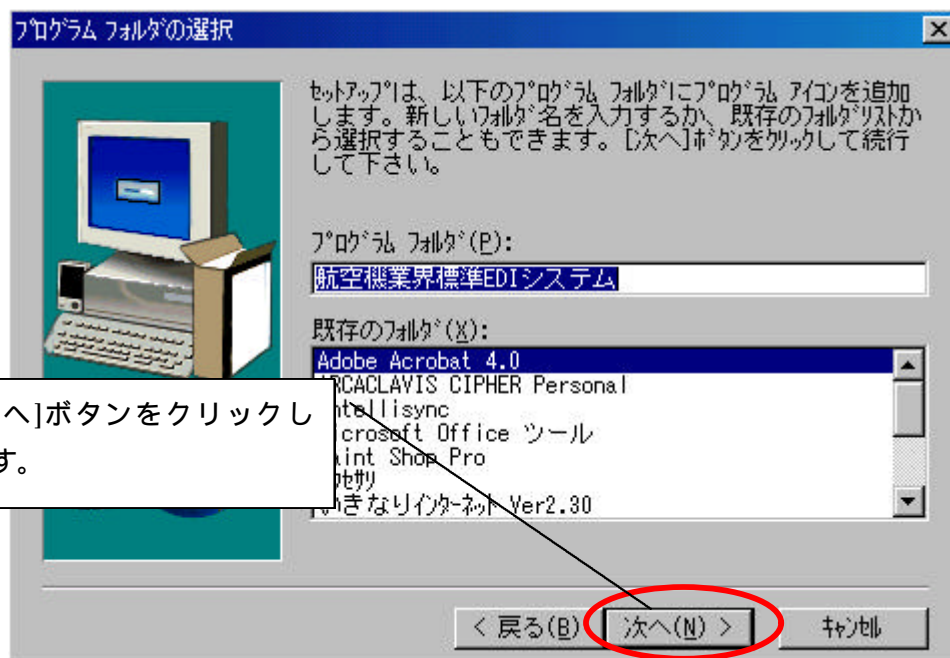


<補足説明>

[参照]ボタンをクリックする事により、以下の画面が表示されます。
インストール先を変更したい場合は、以下の画面にて選択してください。



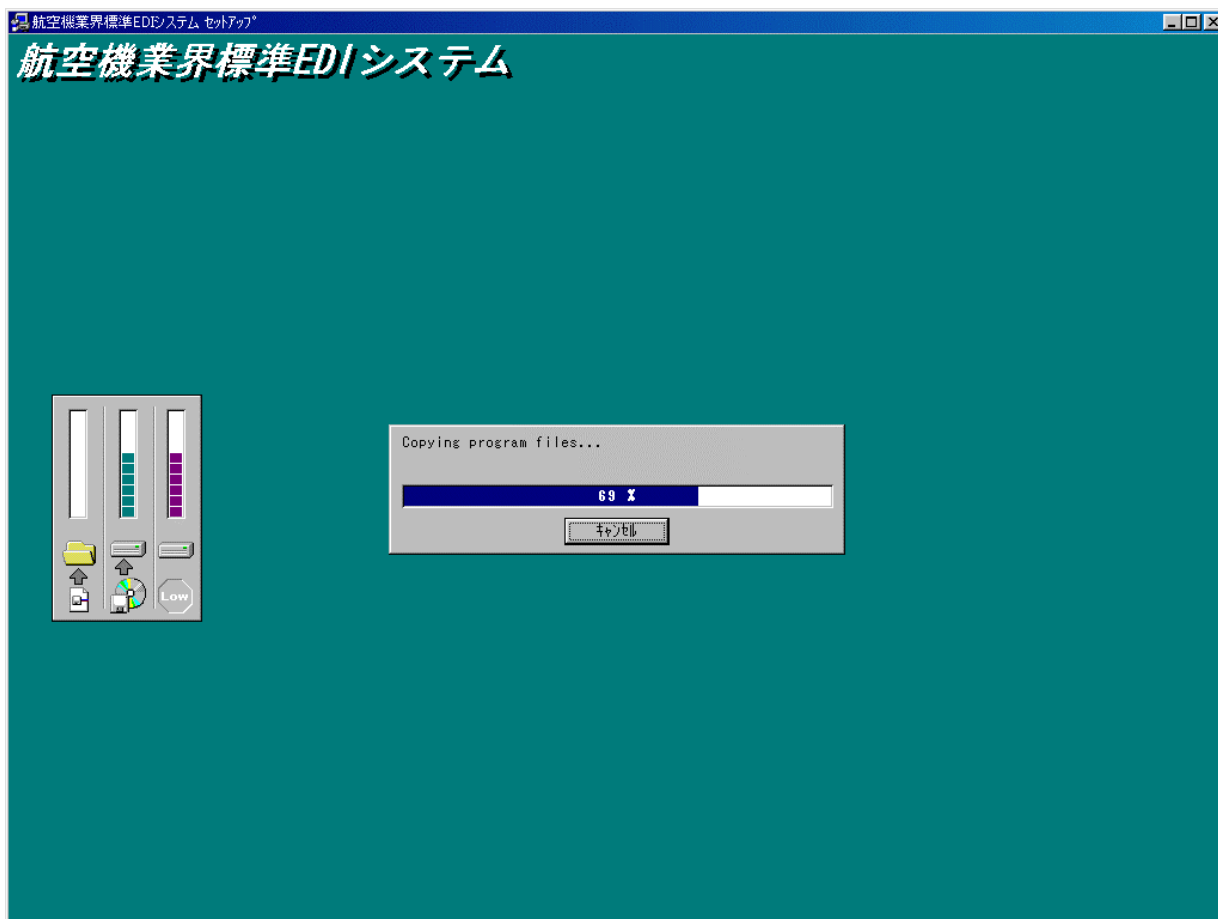
(D) プログラムグループへ登録します。



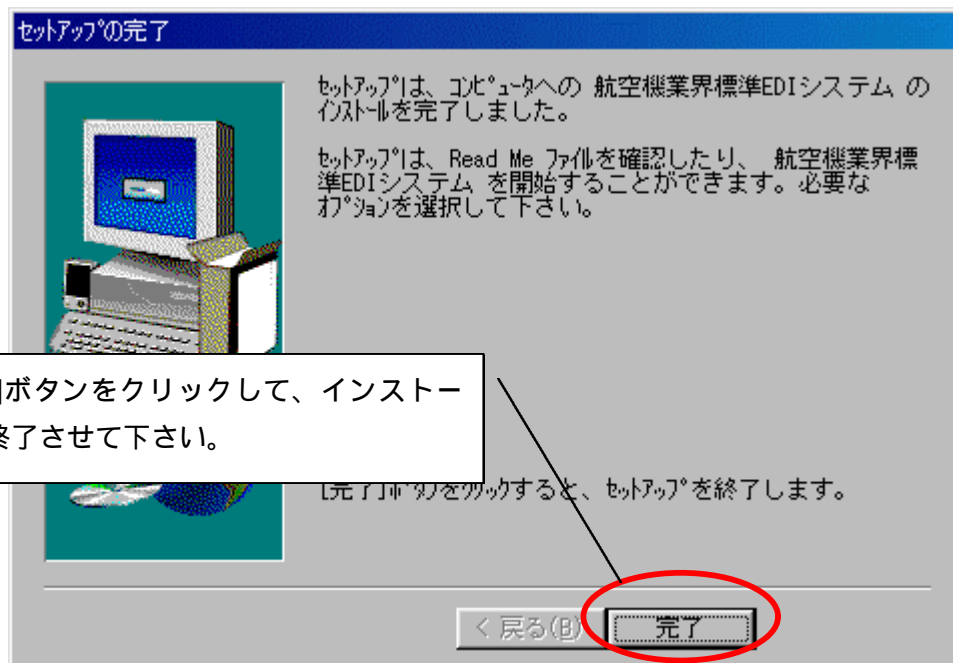
<補足説明>

テキストボックスの内容が、スタートメニューに表示されます。

(E) ファイルの転送が行われます。

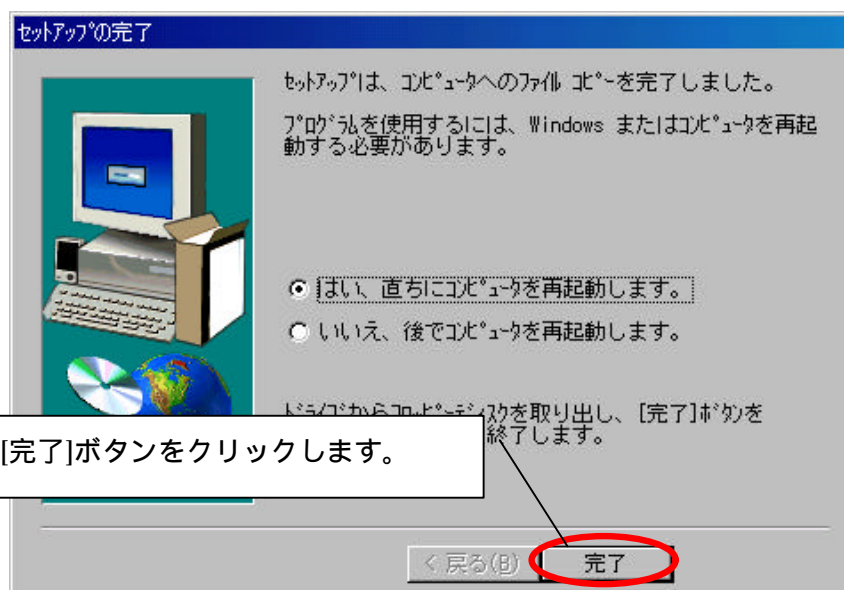


(F) インストールを終了します。

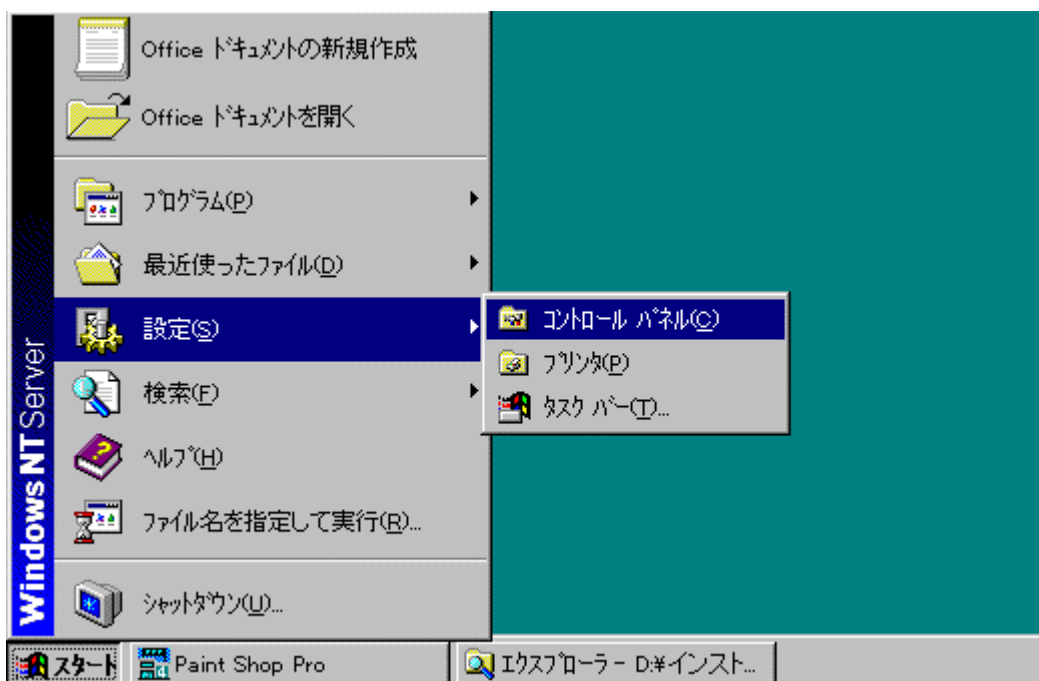


<補足説明>

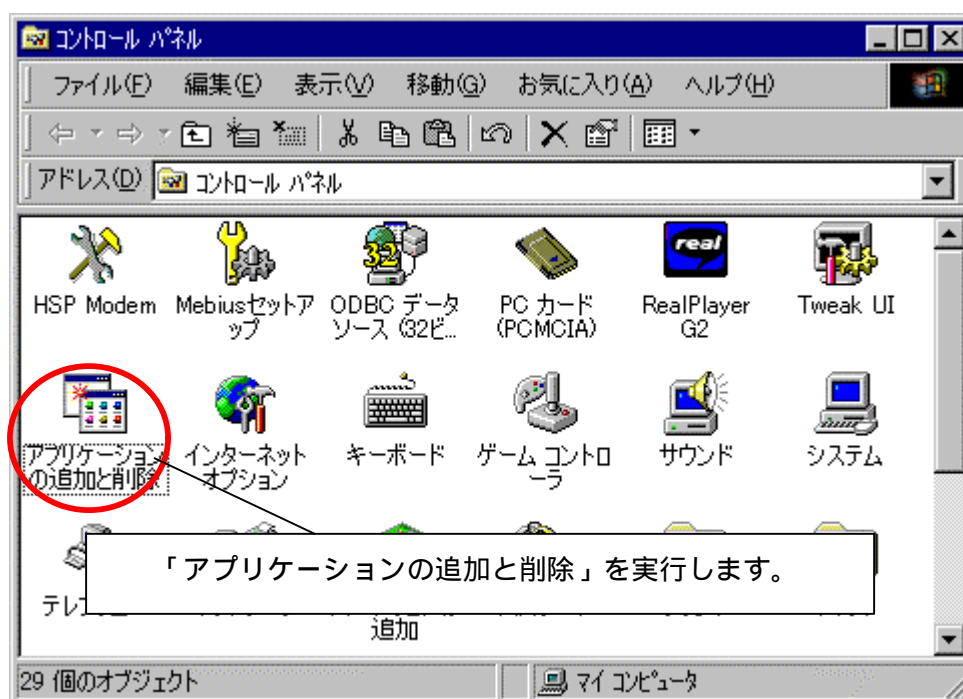
上記画面でなく以下の画面が表示された場合は、再起動を実施してください。



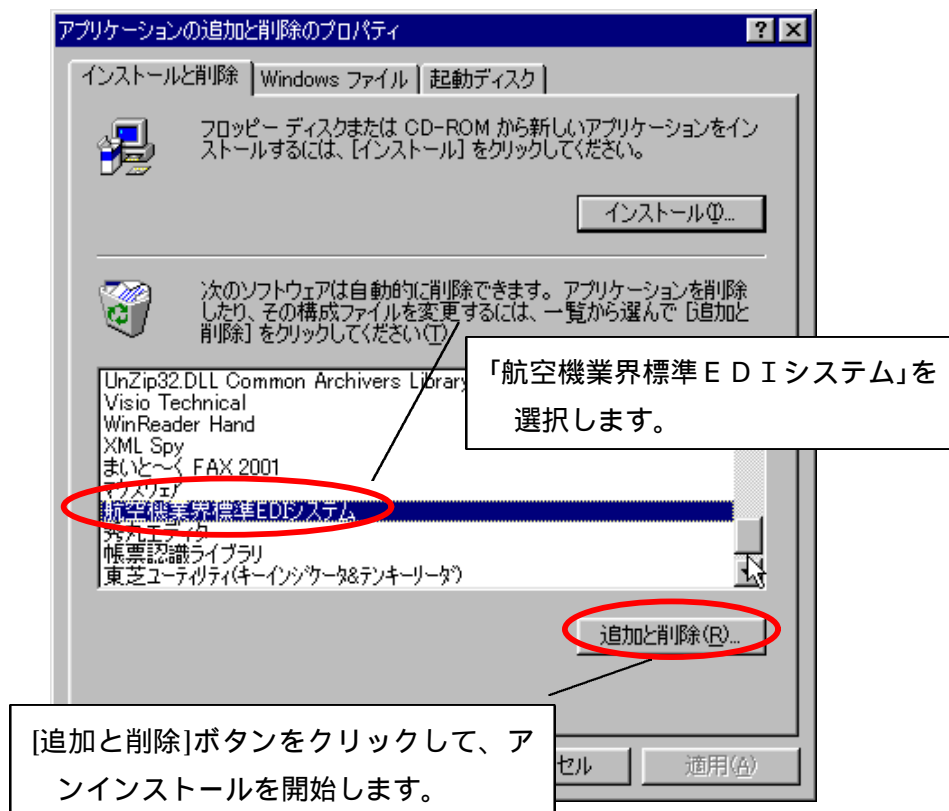
(A) 「スタート」メニューより、「設定」「コントロールパネル」を実行して、コントロールパネルを開きます。



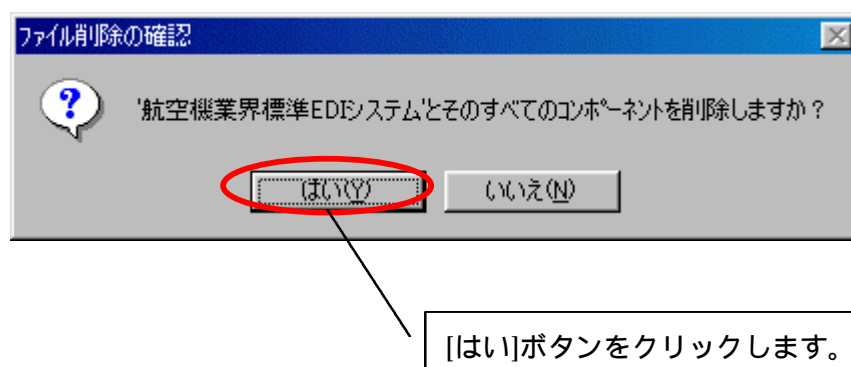
(B) コントロールパネルより、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。



(C) [インストールと削除]の設定タブより、「航空機業界標準EDIシステム」の項目を選択して、[追加と削除]ボタンをクリックします。



(D) [はい]ボタンを選択してアンインストールを開始します。

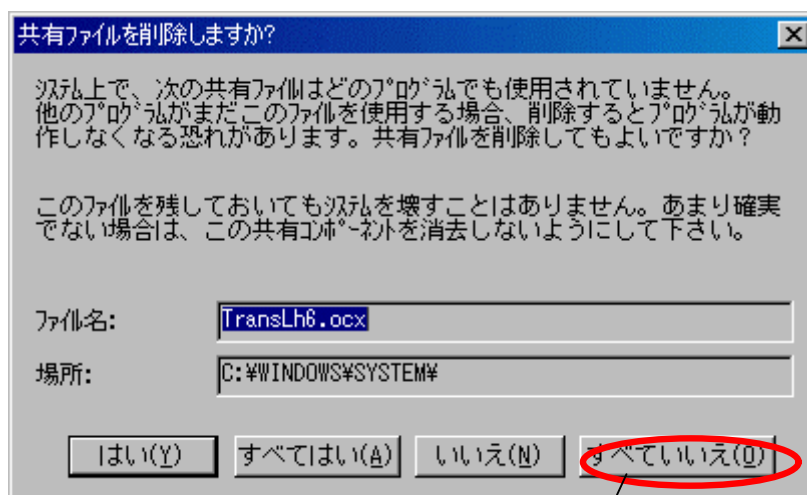


(E) アンインストールが開始されます。



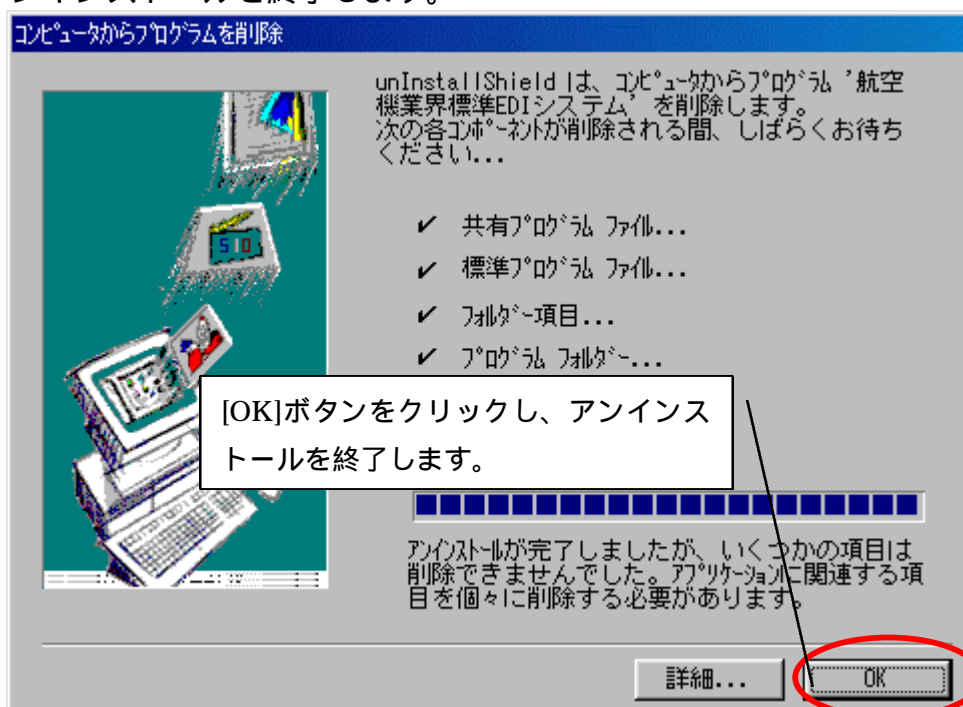
<補足説明>

以下の画面が表示された場合は、[すべていいえ]を選択して処理を続行してください。



[すべていいえ]ボタンをクリックします。

(F) アンインストールを終了します。



<補足説明>

航空機業界標準EDIシステムをインストールしたフォルダ、およびそのサブフォルダの中に、インストールによって作成したファイル以外のファイルがある場合、[詳細]ボタンをクリックすることにより、以下の画面に表示されます。

このファイルは、手動で削除してください。

